



H.Suga

## THE ASAHI HAI ST.LITE KINEN

# 第79回 朝日杯セントライト記念 (GII)

1着	2着	3着	4着	5着
本賞 54,000,000円	22,000,000円	14,000,000円	8,100,000円	5,400,000円
付加賞 840,000円	240,000円	120,000円		



レース映像は  
コモニで

3歳、除未出走馬および未勝利馬  
負担重量 馬齢重量

2025.9.15 中山 曜・良 芝2200メー 国際 指定

着順	馬番	馬名	性齢	斤量	騎手	タイム	コーナー (着差)	上り (600m)	馬体重 (増減)	単勝 オッズ	調教師	レーティング
1	⑥	ミュージアムマイル	牡 3	57	戸崎圭太	2:10.8	8-8-6-6	34.4	500(+4)	2.6①	高柳大輔(栗東)	115
2	⑤	ヤマニンブーケリエ	牡 3	57	横山典弘	%	5-5-6-6	34.4	516(±0)	25.4⑧	松永幹夫(栗東)	113
3	⑧	レッドパンデ	牡 3	57	佐々木太輔	クビ	3-3-3-3	34.7	486(+2)	4.4②	大竹正博(美浦)	113
4	②	ピックルデムッシュ	牡 3	57	CLルーム	%	9-9-9-9	34.4	458(±0)	8.2⑤	鹿戸雄一(美浦)	112
5	③	サクラファーリ	牡 3	57	藤岡佑介	2/1	2-2-3-3	35.2	514(+4)	10.0⑥	塙 宣行(美浦)	
6	⑦	ビーオンザカバー	牡 3	57	横山武史	クビ	12-12-12-12	34.0	472(±0)	24.1⑦	伊藤圭三(美浦)	
7	④	リギーロ	牡 3	57	三浦皇成	%	11-11-11-11	34.7	476(+4)	89.3⑨	栗田 徹(美浦)	
8	⑫	フィーリウス	牡 3	57	丹内祐次	%	5-6-2-2	35.6	502(-2)	119.4⑩	手塚貴久(美浦)	
9	⑩	フレータス	牡 3	57	菅原明良	%	3-4-6-6	35.3	458(±0)	152.6⑫	高柳樹理(美浦)	
10	⑪	エーオーキング	牡 3	57	木幡巧也	1/2	7-7-9-9	35.3	450(-4)	129.9⑪	久保田貴士(美浦)	
11	⑪	ジーティーアダマン	牡 3	57	田畠望来	%	1-1-1-1	36.2	492(-4)	6.8④	上村洋行(栗東)	
12	⑨	ファインアランクン	牡 3	57	J.マリラ	3	9-9-3-3	36.4	460(+4)	6.0③	塙 宣行(美浦)	

単勝⑥260田(1人) 複勝⑥130田(1人) ⑤420田(8人) ⑧160田(2人) 桜漣⑥-⑤3 100田(12人)

単勝6260円(1人気) 優勝6130円(1人気) 5420円(8人気) 8160円(2人気) 枠連5-53,100円  
馬連6-63,480円(15人) ワイド6-61,060円(15人) 6-8300円(1人) 5-81,240円(18人)

馬連5-6 3,480円(15人)  
馬單6-5 1,140円(19人) ワイト5-6 1,060円(15人)  
6-8 300円(1人)  
5-8 1,240円(18人)  
3連複5-6-8 3,280円(10人)  
3連單6-5-8 19,770円(66人)

5重勝(3)(8)(1)(4)(6)238 220田(2,633票) 対象競走: 中山19R/阪神10R/中山10R/阪神11R/中山11R

対象競走：中山9R／阪神10R／中山10R／阪神11R／中山11R

## アラカルト

- ・戸崎圭太騎手はセントライト記念初勝利。JRA重賞は本年6勝目、通算83勝目
  - ・高柳大輔調教師はセントライト記念初勝利。JRA重賞は本年2勝目、通算8勝目
  - ・リオンデューズ産駒はJRA重賞通算9勝目
  - ・皐月賞馬の勝利は16年ディーマジェスティに続く通算6回目
  - ・ファイアンクランツは枠内駐立不良[突進]。危険防止のため外枠から発走
  - ・ミュージアムマイル、ヤマニンブーケリエ、レッドバンデーは菊花賞(G1)に優先出走できる

## ミュージアムマイル *Museum Mile*

牡 黑鹿毛 2022.1.10生

北海道安平町 ノーザンファーム生産

馬主・(有)サンデーレーシング 栗東・高柳大輔厩舎  
馬名意味: ニューヨーク、マンハッタンの5番街にある通り

ハッピートレイルズIRE系 F4-d	
リオンディーズ 黒鹿毛 2013	キングカメハメハ 鹿毛 2001
	マンファスIRE
	シーザリオ 青毛 2002
	スペシャルウィーク
ミュージアムヒル 鹿毛 2015	キロフリミエールGB
	ハーツクライ 鹿毛 2001
	サンデーサイレンスUSA
	アイリッシュダンス
ロレットチャペル 鹿毛 2003	フレンチデビュティUSA
	サンタフェトレイル

5代までのインブリード: サンデーサイレンスUSA M3×S4  
Northern Dancer S5×M5

## INTERVIEW

高見優也 厲金長(ノーザンファーム空港)

秋も大きなタイトルを期待しています

春の実績からしても、ここは負けられないと思っていました。ゲートが苦手なのか、今回も後方からのレースとなりましたが、思ったよりもやつたりとした流れとなったので、直線では前を捉えられるかとも思いました。距離もこのあたりが合っているのでしょうか。休み明けを使われてさらに調子を上げていきそうなので、春に続いて秋も大きなタイトルを期待しています。

父リオンディーズ

北海道安平町 ノーザンファーム生産 中央5戦2勝(朝日杯フューチュリティS G1、弥生賞GII 2着)、最優秀2歳牡馬、17年から供用

〔代表駒〕ミュージアムマイル(本馬)、テーオーロイヤル(天皇賞(春)<sup>G1</sup>、阪神大賞典<sup>G1</sup>、ダイヤモンドS<sup>G1</sup>2回)、リブレーザ(兵庫チャンピオンシップ<sup>Jpn1</sup>2回)、インダストリア(ダービー卿チャレンジトロフィー<sup>G1</sup>)、アナザーリック(福島牝馬S<sup>G1</sup>)、ジャステインロック(京都2歳S<sup>G1</sup>)、サンライズホーク(かきつばた記念<sup>Jpn3</sup>、サマーチャンピオン<sup>Jpn3</sup>、兵庫ゴールドトロフィー<sup>Jpn3</sup>)、ロジリオン(クロッカスS・L、洛陽S・L、京王杯2歳S<sup>G1</sup>2着、NHKマイルC<sup>G1</sup>3着)、ディオ(東風S・L、関屋記念<sup>G1</sup>2着)、オタルエバー(ラピスラズリS・L、ファルコンS<sup>G1</sup>3着、新潟2歳S<sup>G1</sup>3着)

## 母ミュージアムヒル

北海道安平町 ノーザンファーム生産 中央22戦3勝(江の島特別、フローラルウォーク賞、スイートピーS 9戻り2着)

**ミュージアムマイル** 本馬(22 牡父リオンディーズ)中央8戦4勝(皐月賞G1、セントライト記念G1、華厳賞、朝日杯フューチュリティS G2、3着)獲得

セントライ記念、黄寅賓、朝日杯フューチュリティS(2着)獲得  
総賞金337,419,000円

祖母ロレットチャペル

北海道星来町 ノーザンファーム生産 中央0勝 17年死亡

チャーチクリーガー(09 牝父ネオユニヴァース)中央4勝(日野特別、春菜賞)、  
ペッレグリーニ(セントボーリア賞)、マイユニバース(九十九里特別、ホスピタル賞)の母

カレンバッドボーイ(10 牡父ディープインパクト)中央3勝(脊振山特別、渥美特別)、障害1勝

アルター(12 騎父ネオユニヴァース)中央5勝(御堂筋S、芦ノ湖特別、江坂特別)

### ミュージアムヒル(15 前出)

### 曾祖母サンタフェトレイル

北海道早来町 ノーザンファーム生産 中央5勝(福島テレビ杯、長万部特別、若潮賞)、05年死亡、キングストレイル(セントライト記念<sup>GII</sup>、京成杯オータムH<sup>GIII</sup>)の母



「貴禄の違い」で、ここで重賞初制覇を果たしたアーバンシックが、勢いに乗って最後の一冠も制した昨年に対し、今年のセントラル記念は秋の天皇賞へ進む予定が組まれている一冠目の王者ユージアームマイルが断然の主役と目された。青葉賞で4着に追い込み、続く1勝クラス特別を好時計で圧勝したレッドバンディ東京スポーツ杯2歳S4着、青葉賞2着の実績を持つファイアンクランツがこれに次ぐ支持を集めたものの、皇馬賞馬は「貴禄の違い」を見せ付けてラバルたちを一蹴。古馬の一線級に挑む大目標に向けて弾みをつけた。

ゲート内で暴れたファイアンクランツが外枠発走となり、波乱含みの幕開

けとなつたレースは、3月のすみれSを好時計で逃げ切つたジーティーアダマンが先導。逃げの戦法で3連勝中の新星サクラファレルは2番手に控え、レッドバンデは3番手のインに腰を落ち着ける。平均的なラップが刻まれていくなか、1コーナーを後方3番手で回つたファイアンクランツは奥深い正面から動き、前に迫つていった。ダッシュがつかず、中国馬群の後方につけたミュージアムマイルの戸崎圭太騎手はこれをやり過ごし、ひと息吸置いてから進出を開始。4コーナーでもう、前を射程に收めていた。馬群の大外を回つて追い上げる形となりな

直線に向いて仕掛けられると力強い床脚を発揮。内々を捌いて抜け出したヤマニンブークリ工をかわして「ゴール」を駆け抜けた。

弥生賞「ディープインパクト記念(4着)」をひと叩きされて臨んだ天皇賞では2歳王者クロフデュノールを鋭く差し切った本馬。ダービーは流れと位置取りが噛み合わなかつた印象で6着に敗れたものの、秋の初戦でさすがの底力を見た。「ディープインパクト記念でもしつかり仕上げたつもりでしたが、天皇賞ではそこから一段、上がつてくれましたからね」と高柳大輔調教師。さらなる上積みも見込める秋の天皇賞では、イクイノックス以来の「3歳馬制覇」に期待が膨らむ。

# 「貫禄の違い」でライバルたちを一蹴